

パソコン環境復元・運用支援ソフト

# HD革命/WinProtectorのご紹介

---

## Ver. 6

Rev 2.2.161110



パソコンの利用後、再起動 1 回で元の状態へ戻すソフトウェアです

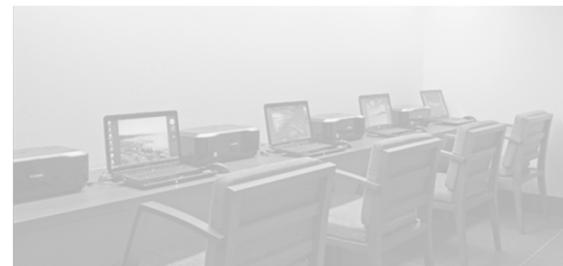
再起動・シャットダウンのタイミングで、利用中の操作を無効化し、  
利用前の環境に戻すソフトウェアです。



パソコンに不要なデータが残らないので、利用者の個人情報の漏えいリスクを軽減します。  
意図的な改ざんの防止、外部からの攻撃や侵入を防御、クリーンな状態の維持などにより、  
保守コストの削減にもつながります。

## 不特定多数の方が利用するパソコン

- ・ 学校のPCルーム、PC教室で。
- ・ インターネットカフェ、マンガ喫茶で。
- ・ ホテルや図書館、公共施設などのインターネットコーナーで。
- ・ パソコンショップなどの展示コーナーで。



## 貸出用のパソコン

- ・ ホテルのレンタルパソコンに。
- ・ 授業や会議時の貸出用パソコンに。
- ・ 展示会など一時レンタルサービスに。
- ・ 病院の患者レンタル用タブレットに。



## Windows環境の固定が必要なパソコン

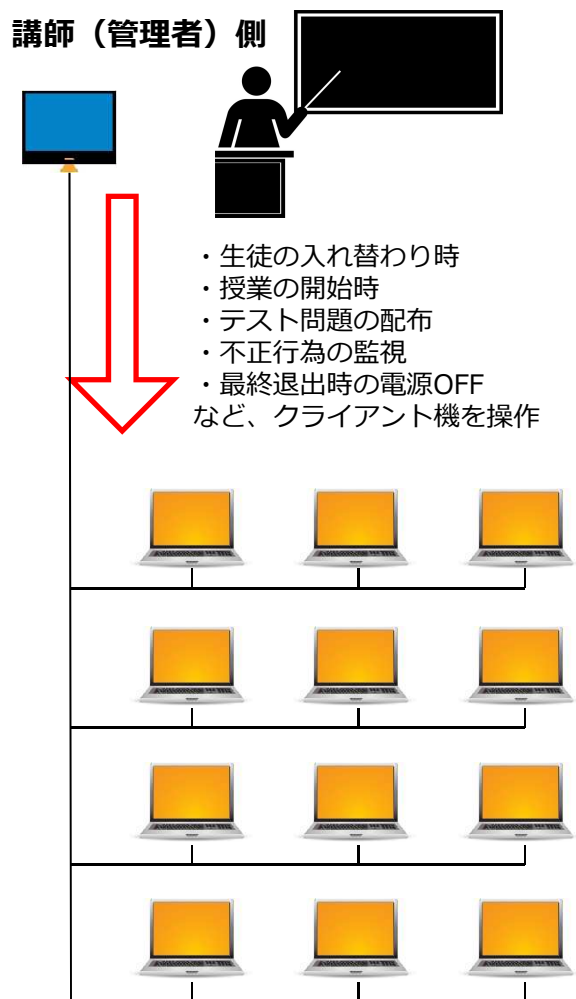
- ・ 精密な結果が常に求められる機器に。
- ・ ソフトウェアの検証に。



## さまざまな場所に持ち出すパソコン

- ・ 営業マンがお客様先へ。
- ・ 技術作業員が現場へ。
- ・ 企業内、部内の共有パソコンにも。

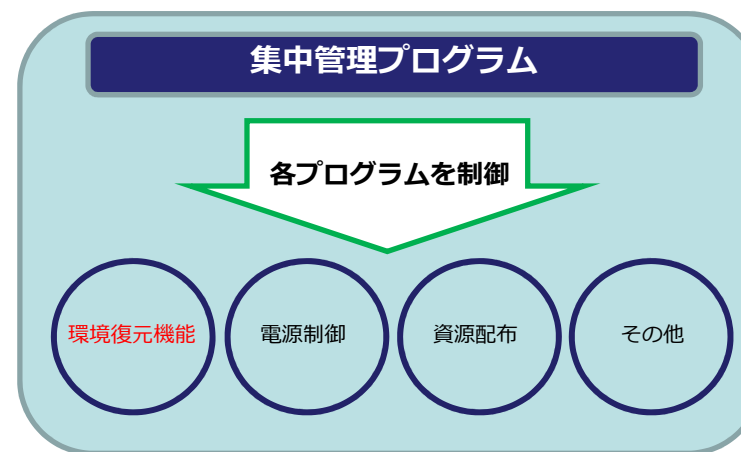




環境復元ソフトがインストールされたクライアントPC

生徒（クライアント）側

環境復元機能も含めた  
・パソコン運用管理システム  
・授業支援パッケージ  
などの名称で、  
統合的ソリューションとして定着



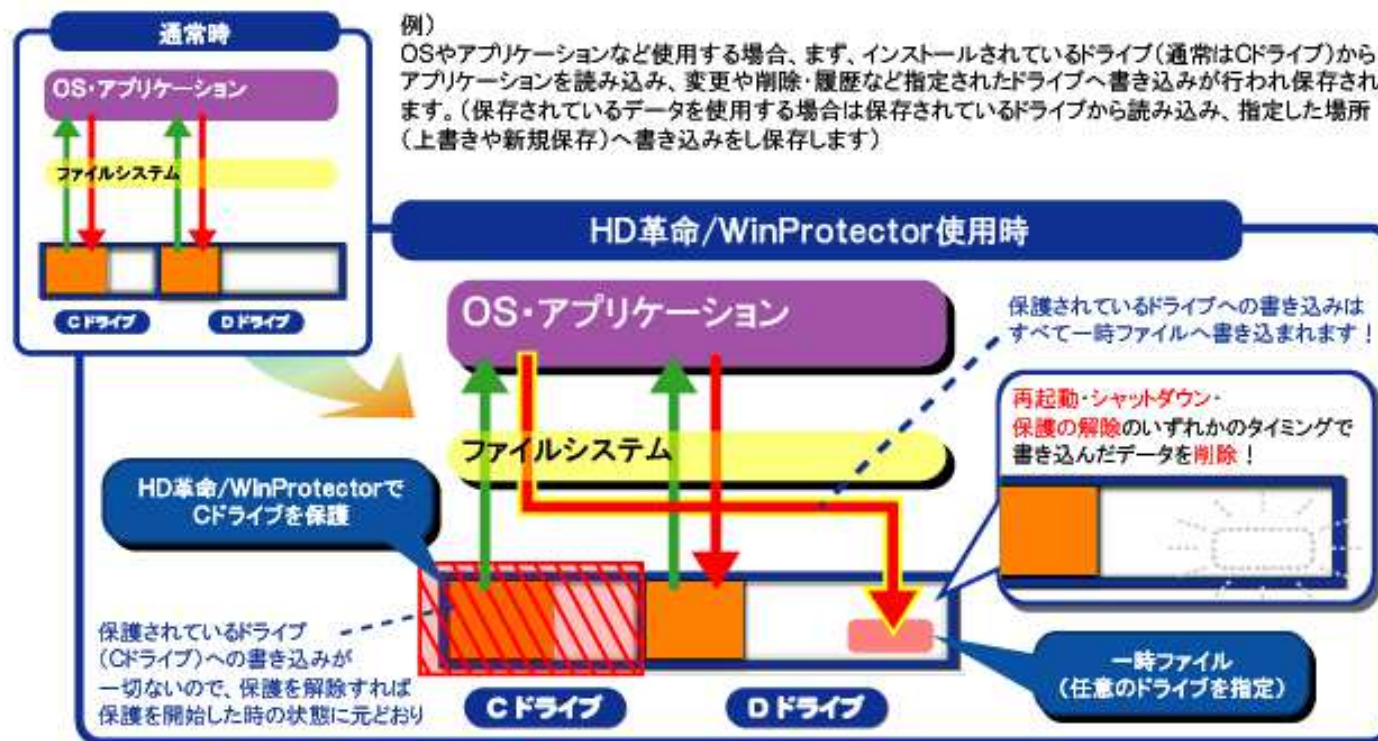
現在の市場シェアは…

# HD革命/WinProtector とは

任意のハードディスクドライブへの書き込みをすべて「HD革命/WinProtector」が作成した一時ファイルに回避（書き込み）します。

再起動・シャットダウン・保護解除のいずれかのタイミングで一時ファイルを破棄することで、保護中の操作を全て無効にし、保護を開始した状態に戻す、『環境復元ソフト』です。

## HD革命/WinProtector 使用時のデータの流れ



☆HD革命/WinProtector における「保護」とは、 他社ソフトにおける「復元モード状態」と同義です。

「HD革命/WinProtector」では、ご利用の環境に合わせた様々な設定が可能です。

- ▶ Windows 10 対応
- ▶ BitLocker環境に対応
  - ※BitLockerが有効化された環境では、「保護除外設定」と「リアルモードから保護を開始する」、「継続保護の設定」は使用できません。
- ▶ 導入時に便利な設定情報入出力、サイレントインストール
- ▶ ドライブ毎の保護設定
- ▶ パスワード設定
- ▶ ウィンドウ（クライアント側画面）の表示/非表示設定
- ▶ 一時ファイルの保存先・容量指定
  - 一時ファイルを内蔵ハードディスク以外にメモリーに保存することができ、高速の環境復元が可能です。
- ▶ アップデート連携（Windows Update・アンチウイルスソフトの更新）
- ▶ ログオンユーザー毎の保護・権限設定
- ▶ 保護除外設定（フォルダー／ファイル／レジストリキー） **※Ver.6新機能**
  - ※「リアルモードから保護を開始する」と「継続保護の設定」、「アップデート連携」などの機能と同時に設定できません。
- ▶ 継続保護設定
  - 再起動後も保護を継続することが可能です。再起動が必要なソフトウェアのインストールも可能です。
  - ※GPTディスク環境では対応しておりません。

## ● Windows Update との連携

環境を保護していても、Windows Update と連携して、クライアントPCのアップデートを実施することが可能です。最新のWindowsの環境で、パソコンを利用することができます。



スケジュール時に電源が入っていない場合や、シャットダウン時など、運用に即したアップデート連携が行なえません。



適用する更新プログラムの種類（重要 + オプション、重要のみ）を選択するためのオプション、および、除外する（適用しない）更新プログラムを指定するためのオプション。

**Ver.6では、**  
使用するWSUSサーバー、  
プロキシサーバーの設定が追加されました。

## ● アンチウイルスソフトの更新 と連携

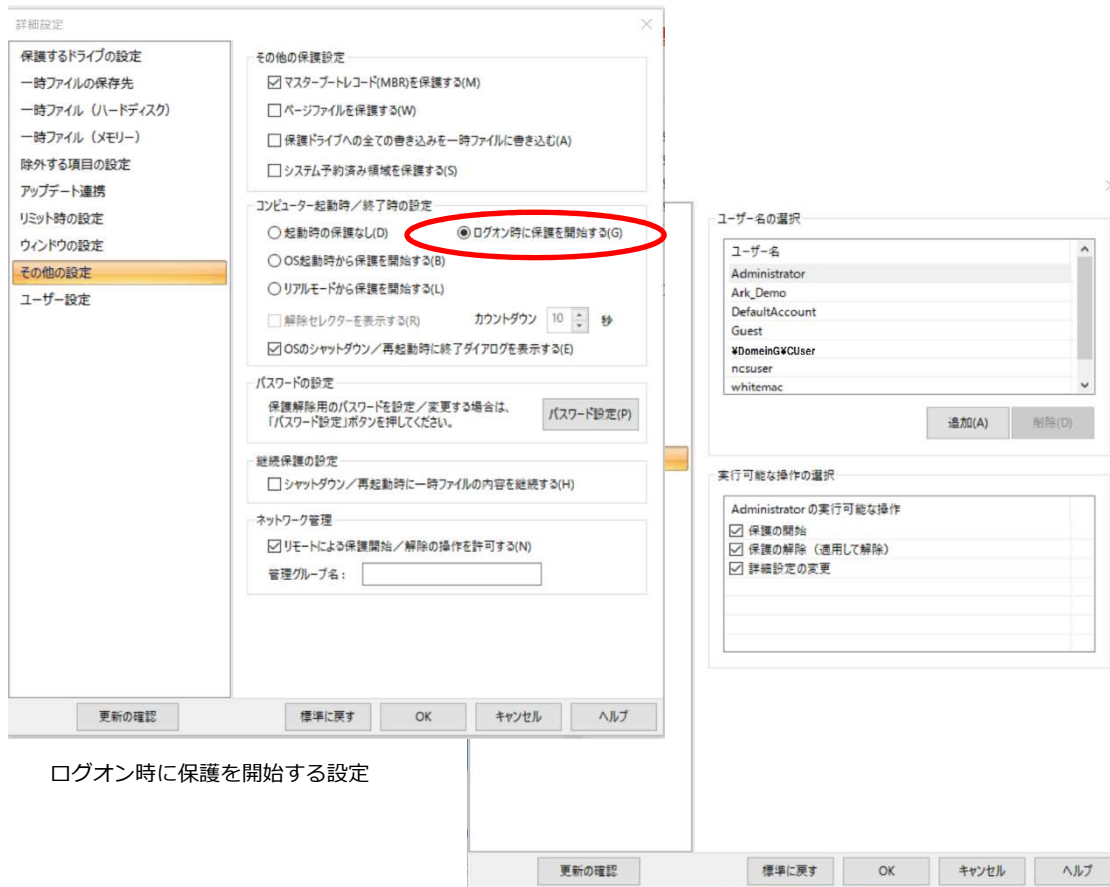
Windows Update と同様に、環境を保護中に、アンチウイルスソフトの更新、定義ファイルの更新が可能です。  
セキュリティも最新の状態で、パソコンを利用することができます。

→ 検証済みアンチウイルスソフト一覧は21ページをご覧ください。



## ● ログオン時からユーザによって保護が可能

「標準（ゲスト）ユーザでは保護するけど、管理者はソフトをインストールしたり、制限なく使用したい！」  
「ユーザ毎に切り分けて運用して、情報の漏えいを防ぎたい」  
そんな運用方法に対応！ セキュリティ面とコスト面の両立を実現しました。  
HD革命/WinProtector ならではの機能です。



ログオン時に保護を開始する設定

ユーザ毎に権限を設定するユーザー設定画面。  
保護モードと変更の権限を変更できる。

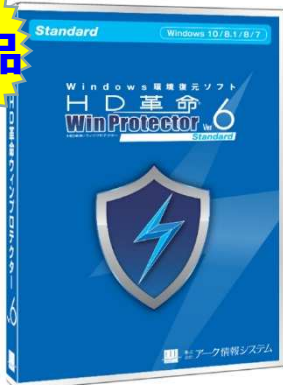
### 市役所での導入ケース

2013年に全職員利用PC2,000台以上に導入  
職員の業務PCに導入されています。

HD革命/WinProtector の、ログオンユーザ毎の保護モード切替の機能を周知。一般業務の際のユーザ名と、台帳関連の業務を行なう際のユーザ名を分け、台帳関連の業務を行なう際には保護モードで利用、履歴を残さない運用ルールを徹底されています。一般業務時には、インターネットにつなげる場合でも、履歴は残されていないので漏えいのリスクも極めて低く、他のソフトをインストールすることも可能ですので、何ら制限はありません。運用開始後、4年近く経過していますが、大きなトラブルなくご利用されています。

## ● スタンドアローン、管理者不在の環境などに管理ツール非搭載タイプ

新製品



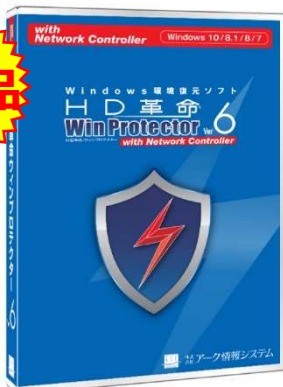
Windows 環境復元ソフト  
**HD革命®**  
**WinProtector Ver.6**  
HD革命/ウィンプロテクター **Standard**  
環境復元の基本機能をすべて搭載した  
スタンダードモデル

**10月21日**  
**提供開始**

※ 小規模のネットワーク上で、簡易的なPC管理が可能な Network Manager が付属します。

## ● 大規模ネットワーク対応、PC運用/資産管理を兼ね備えた管理ツール搭載タイプ

新製品



Windows 環境復元ソフト  
**HD革命®**  
**WinProtector Ver.6**  
HD革命/ウィンプロテクター **with Network Controller**  
複数のパソコンの操作を一括で管理・操作  
大規模ネットワーク向け管理ツール  
ネットワークコントローラー搭載！

**11月18日**  
**提供開始**

パソコンの運用方法、セキュリティ方針、ネットワーク環境などに合わせてお選びいただけます。

# HD革命/WinProtector Ver.6 クライアント最新機能

## WinProtectorが大きく生まれ変わります！！

- 保護を除外する項目が拡大

保護除外機能が大幅にパワーアップ  
ついにレジストリキー除外に対応！

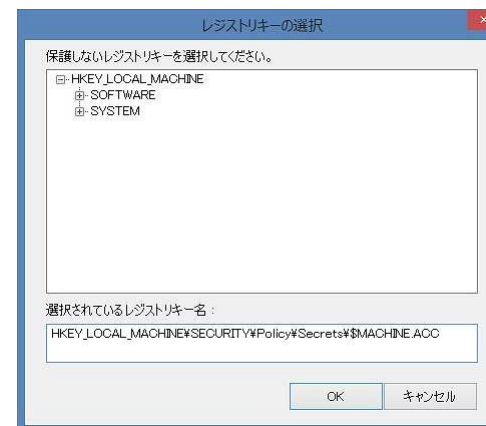
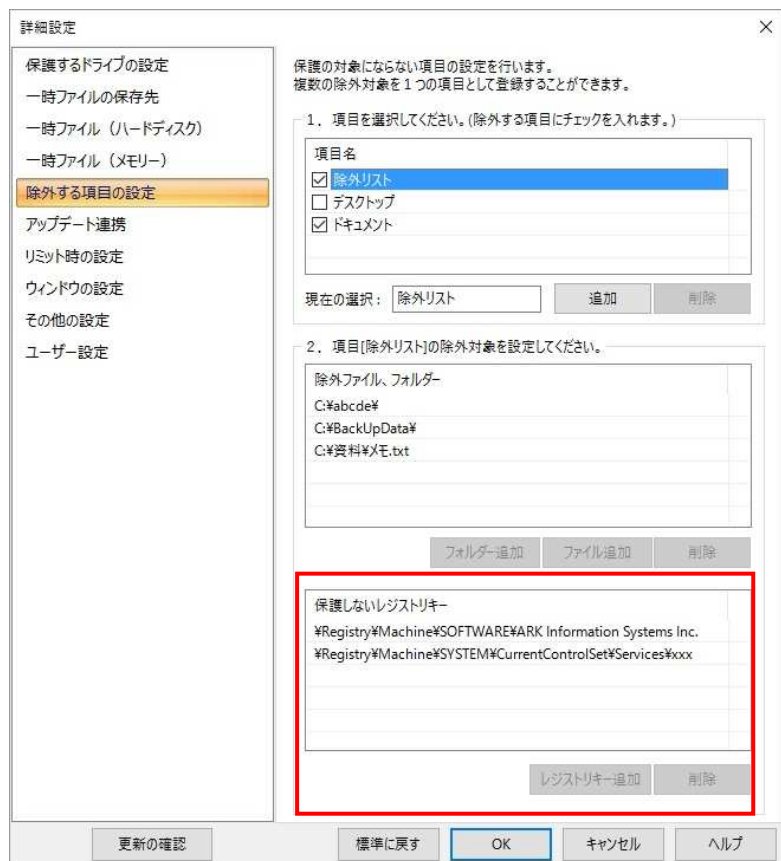
- 運用時の速度アップ

- アップデート連携機能の強化

さらに幅広い運用方針に対応！  
効率的な運用を実現しました。

## ● 保護を除外する項目が拡大

保護除外機能が大幅にパワーアップ  
ついにレジストリキー除外に対応！



HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SECURITY (※)  
HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE  
HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM  
※SECURITYキーはツリーに非表示となっています。

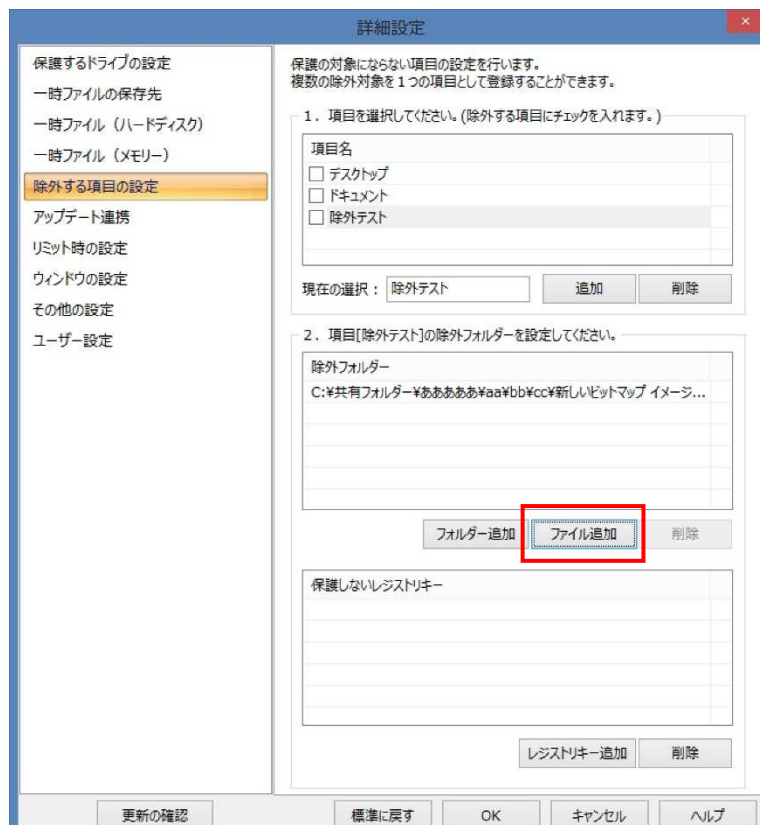
- 再起動することなく  
アンチウイルスソフトの更新も可能！
- 特定のソフトや環境で  
柔軟な設定と運用が可能に！

※個々のソフトウェアや特定の環境における正常な動作を保証するものではありません。  
お客様自身による十分な検証のもとでご利用ください。

## ● 保護を除外する項目が拡大

### 保護除外機能が大幅にパワーアップ

**フォルダー単位に加えて、ファイルを指定しての除外に対応！**



### ■ 運用時のログファイルなどを直接指定して除外が可能に。

HD革命/WinProtectorは、環境復元ソフトです。性質上、例えば問題が発生してログファイルを確認したい時でもそのログファイル自体も破棄され、問題の究明を困難にしている現状がありました。この課題の解決を図りました。

### ■ 複数ドライブの除外設定も可能に。

除外ファイル、フォルダーを選択するときに、複数ドライブのファイル、フォルダーが、混在しても除外設定ができるようになりました。

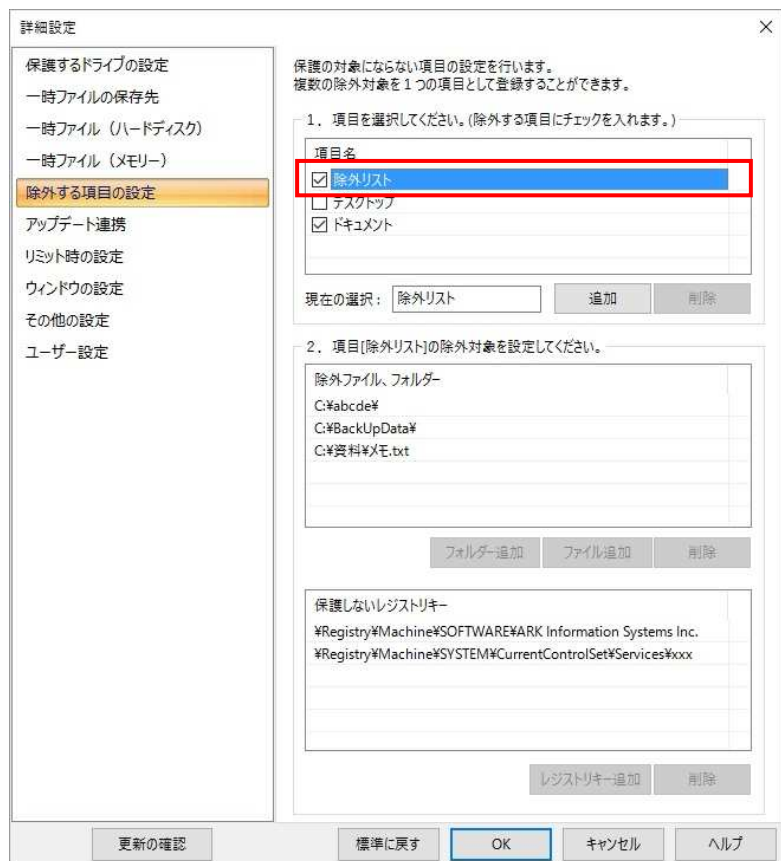
C:¥User¥ARK¥Desktop

D:¥共有フォルダー

などのように、Cドライブ上、Dドライブ上の複数のドライブ上のファイル、フォルダーが同時に設定できます。

## ● 保護を除外する項目が拡大

### 保護除外機能が大幅にパワーアップ 標準の除外設定を登録する機能を追加！



「除外する項目の設定」画面において、これまで「デスクトップ」、「ドキュメント」が標準の項目として登録されていました。WinProtector Ver.6では、標準の項目としてユーザーが設定した内容を登録させるための方法が追加されました。サンプルとして製品には「Kaspersky 2016」という項目が、登録されています。

手順の概要は以下のようになっています。

1. iniファイルを作成する。
2. 指定されたフォルダーへ作成したiniファイルを保存する。
3. 「詳細設定」 - 「除外する項目の設定」画面を開いて「項目名」の一覧に追加されていることを確認する。

☞ 「Kaspersky 2016」という項目を除外すると、カスペルスキー 2016 の更新によって、変更される情報が除外され、アップデート連携機能を利用しない更新が可能です。尚、この項目を選択しても、除外対象の項目は表示されません。

2016年10月14日現在の仕様です。  
対応するアンチウイルスソフトは、  
順次追加される予定です。

### ● 運用時の速度アップ

#### **保護開始時間、保護中のRead/Write速度が向上 特に保護除外機能利用時に大幅改良！**

エンジンの改良と徹底した検証により、処理性能が大幅に向上しました。  
機能追加による速度低下はほとんど無く、保護除外機能を利用した特定の検証環境では、  
驚異的な速度改善が計られたケースもありました。

※PCのスペック、保護中の書き込み容量やファイル数などに大きく依存します。



## ●アップデート連携機能の強化

### WSUSサーバー、プロキシサーバーを設定可能に

Windows Update アップデート連携詳細

WSUSサーバーを使用する  
WSUSサーバー  
統計サーバー

プロキシサーバーを使用する(マイクロソフトのサーバーに接続する場合のみ)  
サーバー名      ポート 8080  
ユーザー名  
パスワード

適用する更新プログラムの種類  
 重要 + オプション(A)    重要のみ(D)    WSUSの設定に従う

除外する更新プログラムの指定  
KB番号で指定：以下のKB番号の更新プログラムは適用しない  
KB番号      追加(K)      削除(D)  
KB3012973

文字列で指定：名前に以下の文字列を含んだ更新プログラムは適用しない  
文字列      追加(N)      削除(R)  
Internet Explorer  
Service Pack  
Bing デスクトップ

標準に戻す(S)      OK      キャンセル

※WSUSサーバー設定は、Windowsグループポリシーの設定を変更します。  
WinProtectorのアップデート連携を介さない通常のWindows Updateも設定されたWSUSサーバーを通して実行されるようになります。  
また、設定したまま WinProtector をアンインストールすると、グループポリシーの設定は残ったままになります。

## アップデート連携での 検証済みアンチウイルスソフトが続々追加！

### カスペルスキー社にも対応！

主な新規追加ソフトウェア

- ・トレンドマイクロ ウィルスバスタークラウド11
- ・F-Secure クライアントセキュリティ12
- ・Kaspersky Endpoint Security 10
- ・マカフィー リブセーブ バージョン 15.1
- ・マカフィー トータルプロテクション 15.1
- ・ソースネクスト スーパーセキュリティZERO 20.0

→ 検証済みアンチウイルスソフト一覧は21ページをご覧ください。

## ●その他の新機能

### インストール時のオプション追加

インストール時のオプション選択に、

「 スタートメニューにショートカットを作成する」

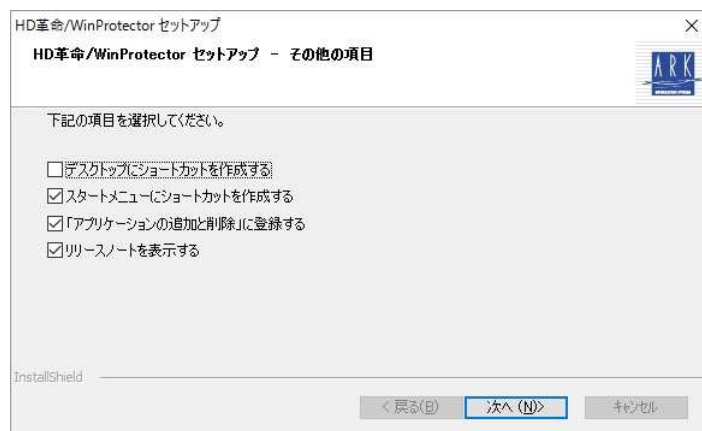
「 アプリケーションの追加と削除に登録する」

の2つのオプションを追加しました。

また、

「 デスクトップにショートカットを作成する」

のオプションのデフォルト設定をオフに変更しました。



サイレントインストール時のオプションも追加されています。

### ● アンチウイルスソフトの更新について

アンチウイルスソフトの定義ファイルおよびプログラムの更新の方法は、以下 **2通り**になります。

#### ① アップデート連携

Ver.5までと同様に、Ver.6でも機能提供します。

**再起動（保護解除） ⇒ 更新 ⇒ 再起動（保護再開）**  
**Windows Update と同じタイミングで更新**

➔ **推奨する更新方法**

#### ② 特定のフォルダー、レジストリキーを除外

**再起動することなく、更新が可能！**

➔ **カスペルスキー社を除き、非サポートとなります。**

2016年10月14日現在の仕様です。  
対応するアンチウイルスソフトは、順次追加される予定です。

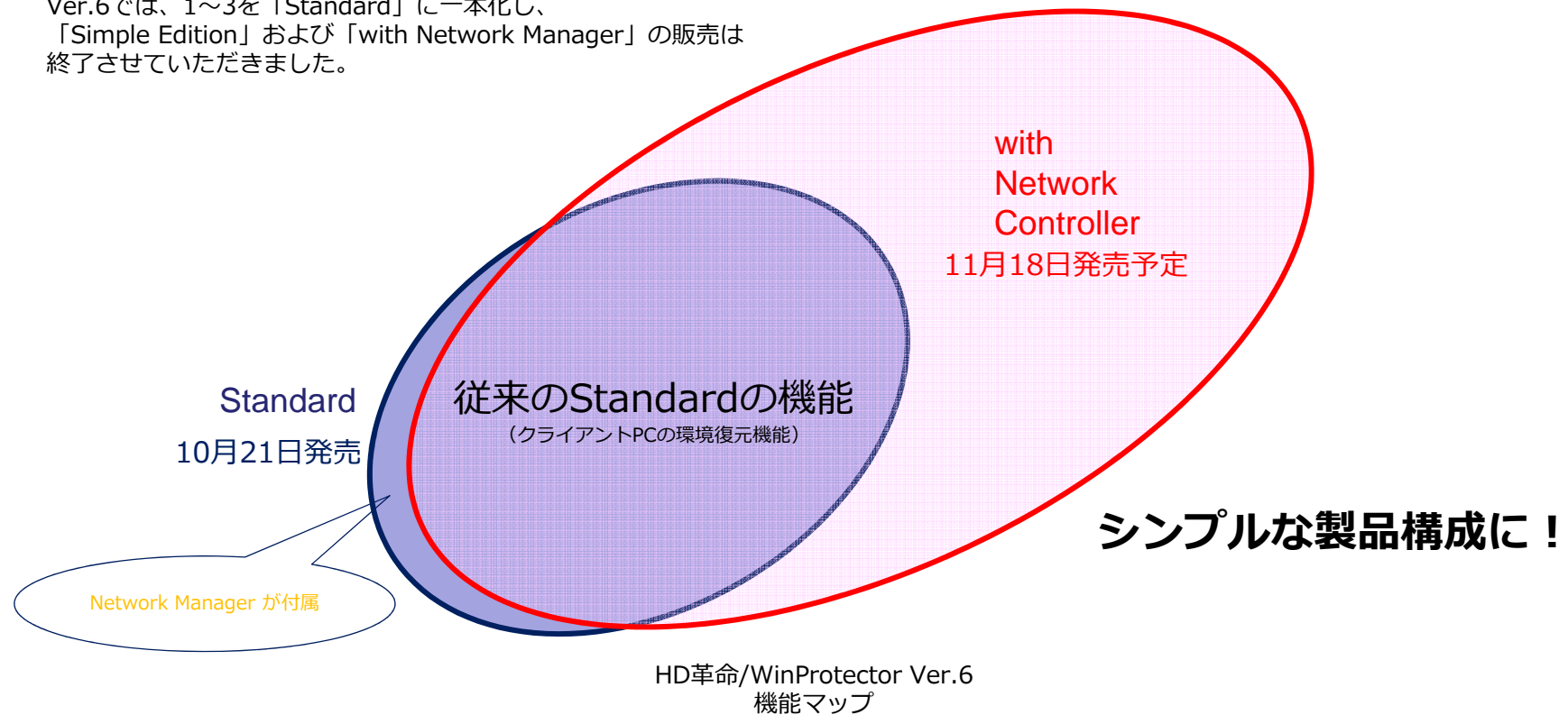
※個々のソフトウェアや特定の環境における正常な動作を保証するものではありません。  
お客様自身による十分な検証のもとでご利用ください。

## ●クライアントPCの環境復元ソフトを Standard に一本化しました！

Ver.5までの HD革命/WinProtector のラインナップには

1. 機能を限定した「Simple Edition」
  2. 環境復元の基本機能を全て搭載した「Standard」
  3. 簡易的な管理ツールを搭載した「with Network Manager」
  4. PC運用・資産管理まで可能な管理ツールを搭載した「with Network Controller」
- の4製品がありました。

Ver.6では、1～3を「Standard」に一本化し、「Simple Edition」および「with Network Manager」の販売は終了させていただきました。



## ◀検証済み連携可能なアンチウイルスソフトウェア▶ ※Windows版のみ対応。

### 【トレンドマイクロ】

#### ★ウィルスバスタークラウド11

ウィルスバスタークラウド10  
 ウィルスバスタークラウド2015年版 (Ver.8)  
 ウィルスバスタークラウド (2014年度版)  
 ウィルスバスタークラウド (2013年度版)  
 ウィルスバスター2012 クラウド  
 ウィルスバスター2011 クラウド  
 ウィルスバスタービジネスセキュリティサービス (のクライアント)  
 ウィルスバスターコーポレートエディション10 (のクライアント)  
 ウィルスバスターコーポレートエディション11 (のクライアント)

### 【カスペルスキー】

#### ★ Endpoint Security 10

#### ★ 2016 マルチプラットフォーム セキュリティ

アンチウイルス2015  
 アンチウイルス2014  
 インターネット セキュリティ2013  
 インターネット セキュリティ2012  
 マルチプラットフォーム 2014セキュリティ  
 マルチプラットフォーム 2013セキュリティ

### 【シマンテック】

#### ★ノートンセキュリティ 2016

#### ★ Endpoint Protection 12.1.6

ノートンインターネットセキュリティ2014  
 ノートンインターネットセキュリティ2013  
 ノートンインターネットセキュリティ2012  
 ノートンアンチウイルス2014  
 ノートンアンチウイルス2013  
 ノートンアンチウイルス2012  
 Endpoint Protection 11

### 【マカフィー】

#### ★リブセーブ バージョン 15.1

#### ★トータルプロテクション 15.1

VirusScan Enterprise 8.8  
 Security-as-a-Service(McAfee SaaS  
 Endpoint) 6  
 オールアクセス2014  
 オールアクセス2013  
 トータルプロテクション2014  
 トータルプロテクション2013  
 トータルプロテクション2012  
 インターネットセキュリティ2012

### 【ESET】

#### ★ Smart Security 9

Endpoint AntiVirus5  
 Endpoint Security5  
 Smart Security 7  
 Smart Security 6  
 ★ NOD32 Antivirus 9  
 NOD32 Antivirus 7  
 NOD32 Antivirus 6

### 【ソースネクスト】

#### ★スーパーセキュリティZERO 20.0

スーパーセキュリティZERO (Build18.0.X)  
 ウィルスセキュリティZERO

### 【F-Secure】

#### ★クライアントセキュリティ12

※Ver.6.0.2現在

★が、Ver.6.0.2で対応

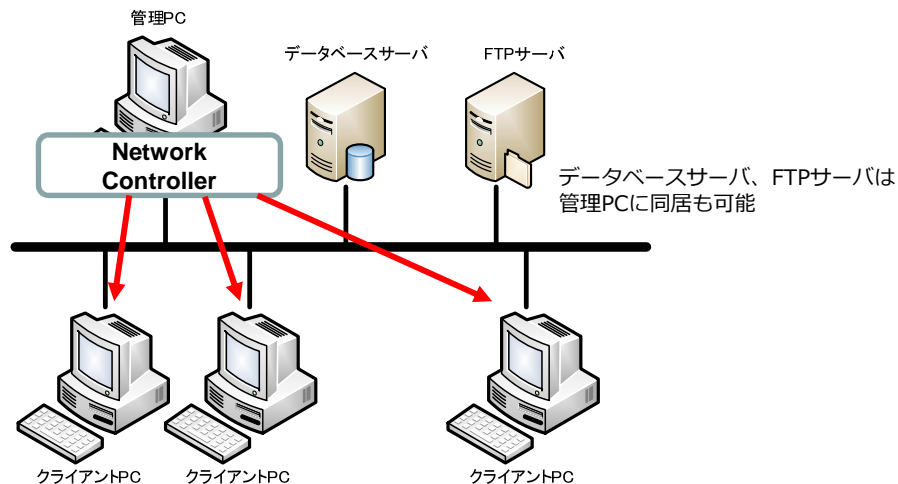
最新の対応状況は、弊社ホームページでご確認ください。



# HD革命/WinProtector Ver.6 with Network Controller

Windows 環境復元ソフト  
**HD革命**  
**Win Protector Ver. 6**  
HD革命/ウィンプロテクター **with Network Controller**

クライアントPCを一元管理  
遠隔で一括操作



電源操作

環境復元操作  
ファイル抹消

資料配布/収集

デバイス制御

Ver.6 機能強化

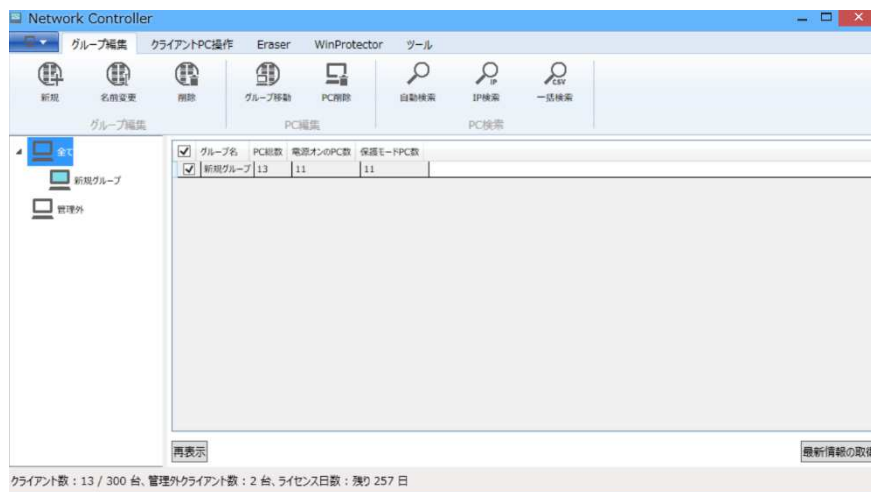
利用情報収集

Ver.6 機能強化

スケジュール実行

複数台の端末の管理と操作を効率化、幅広くパソコン運用を支援

## ●クライアントパソコンの情報をグループで一元管理

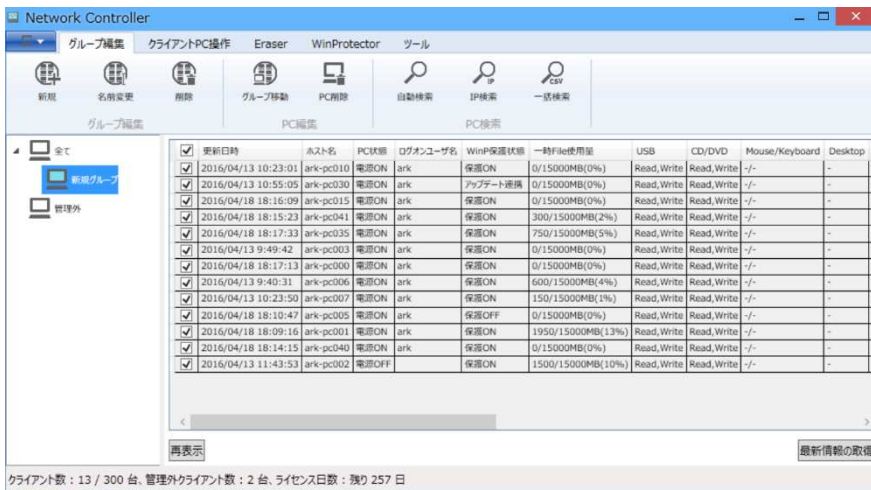


### グループで管理、最大7階層

文教現場であれば、グループや教室ごとに、企業であれば、組織や部署ごとに、など運用状況にあわせたグループ構成が可能。グループに所属するクライアントに対して、一括の操作が簡単にできます。

### グループ情報の表示

グループ名、PC台数（電源状態、保護状態など）



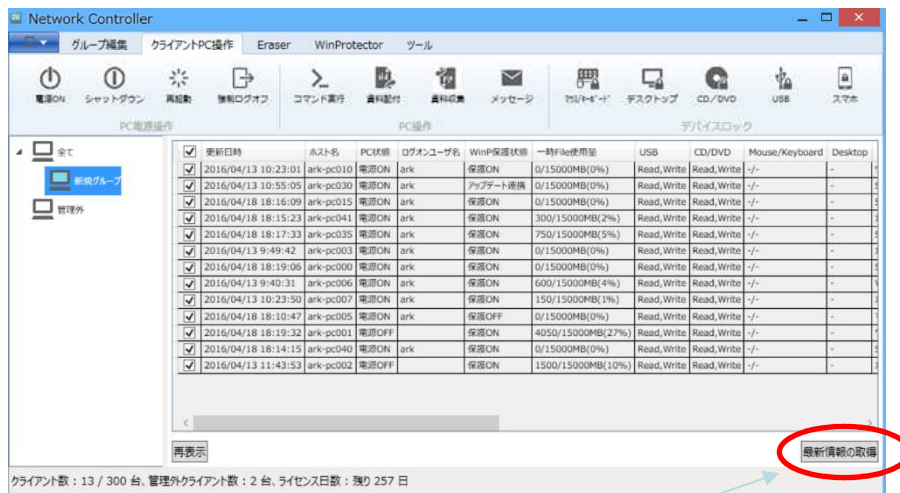
### IP検索、ソートも可能

クライアントPCの各種情報を表示。ホスト名、電源状態、ログインユーザ名、WinProtector保護状態（環境保護状況）、一時File使用量、情報取得日時、アンチウイルスソフト名・パターン更新日、OS、IPアドレス、MACアドレス、など

グループを選択すると、グループに所属するクライアントPCの情報が表示される。



## ●クライアントパソコンの詳細な情報を収集して、状態を把握



「最新情報の取得」ボタンにより、クライアントPCの最新情報を取得し、その表示を更新するようになりました。処理中はボタン左側にプログレスバーが表示されます。

### 情報取得のための豊富なメニューを準備

#### イベントログ

クライアントPCのアプリケーション、セキュリティ、システムの各Windowsログが取得可能。スピーディな問題の解決につながることができます。

#### 詳細情報

起動時間、メモリ利用量、ディスク使用量などより詳細な情報を取得可能です。PCの利用状況を正確に把握できます。

#### 一覧出力

さらにファイル出力も可能。自由な編集で、有効に活用できます。



右クリックでメニューが表示



詳細情報

## ● PC利用状況（アプリケーション、ログオン履歴）を管理

Ver.6



- ・各PCにインストールされたアプリケーションの一覧、情報
- ・各PCのログオン/ログオフの記録

PC利用状況、実態の把握、収集が可能に。

PC名	名前	バージョン	インストール日	サイズ	発行元
ark-pc030	Windows ドライバ/パッケージ - Lenovo (ACPIVPC) System (06/15/2012 8.1.0.1)	06/15/2012 8.1.0.1			Lenovo
ark-pc030	Windows ドライバ/パッケージ - Lenovo (WUDFRD) LenovoVhid (06/19/2012 10.13.20.733)	06/19/2012 10.13.20.733			Lenovo
ark-pc030	ETDWare PS/2-x64 11.4.4.2_WHQL	11.4.4.2			ELAN Micro
ark-pc030	Symantec Endpoint Protection	12.1.6860.6400	2016/04/08	1105894	Symantec
ark-pc030	Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable - 10.0.40219	10.0.40219	2012/11/17	14199	Microsoft C
ark-pc030	Lenovo Solution Center	3.3.003.00	2016/06/22	142643	Lenovo
ark-pc030	Shared C Run-time for x64	10.0.0	2012/11/17	1416	McAfee
ark-pc030	Adobe AIR	22.0.0.153			Adobe Sys
ark-pc030	Alcor Micro USB Card Reader	3.8.42.71502	2012/11/17	3041	Alcor Micro
ark-pc030	Lenovo YouCam	4.1.3127	2012/11/17	216128	CyberLink
ark-pc030	Lenovo Onekey Recovery	8.0.0.1519			CyberLink
ark-pc030	Energy Management	8.0.2.3	2012/11/17	51097	Lenovo
ark-pc030	Lenovo PowerDVD10	10.0.4310.52	2012/11/17	217928	CyberLink
ark-pc030	UserGuide	1.0.0.9	2012/11/17	52293	Lenovo
ark-pc030	Kingssoft Office 2012 (8.1.0.3185)	8.1.0.3185			Kingssoft Ci

アプリケーション一覧画面

対象となるグループ

グループ名	PC総数	電源オンのPC数	保護モードPC数
全て	7	2	2

履歴取得期間: 2016/10/27 15 ~ 2016/10/27 15  
 今日から 0 日前まで  
 履歴取得対象:  ログオン/ログオフ  電源オン/オフ

スケジュール設定 [バッチに追加] [実行] [キャンセル]

ログオン履歴情報取得画面

※履歴は、各PCのWindowsイベントログから取得します。一定期間の履歴の収集が目的で、WinProtectorで保護している場合には、保護除外項目の設定が必要です。

PC利用状況を管理

不正を監視して課題を発見

アプリケーションのバージョン管理

PC稼働時間の集計も可能

## ●電源や資料配布/収集など各種操作を遠隔で操作、スケジュールで省力化



### クライアントPC操作項目

電源ON※/OFF、再起動、ログオフ、コマンド実行（アプリケーションのインストールなどが可能）、資料配布/収集、メッセージ送信、デバイス制御、など、多彩な操作が可能。

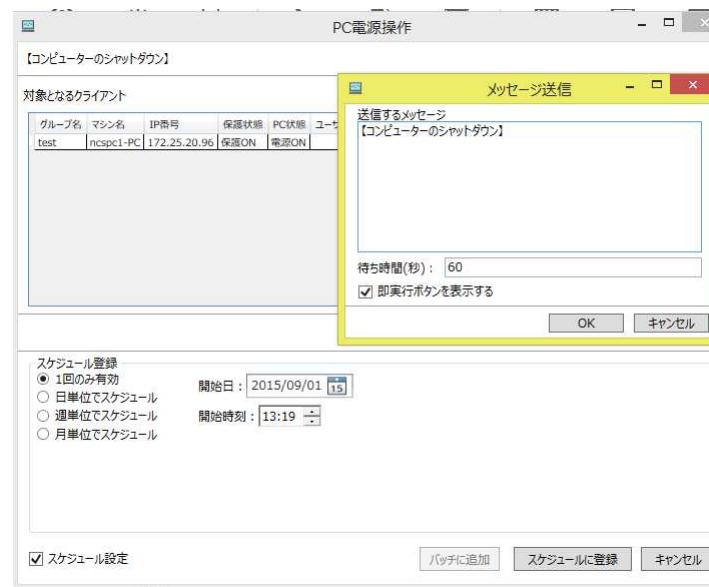
※WakeOnLAN対応機種のみ、電源ONが可能です。

## スケジュールの設定 同時にメッセージ送信設定も可能

クライアントPCへの各操作は、スケジューリングが可能です。

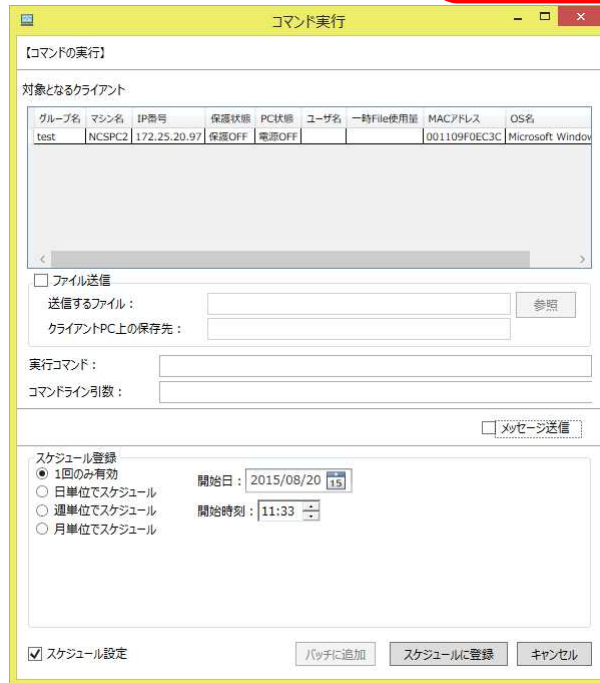
「1回のみ有効」、「日単位」/「週単位」/「月単位」で、スケジュールが設定でき、操作の手間を省力化できます。

さらに、各操作の前に、メッセージの送信も可能。「これから再起動します」「ファイルを送ります」など、リアルタイムなメッセージを送ることができます。



各操作はスケジューリングが可能。  
実行前にメッセージを送ることもできます。

●アプリケーションのインストール・アップデートも可能



コマンド実行の設定画面

クライアントPCに、メッセージの送信、コマンドの実行が可能です。サイレントインストールに対応しているアプリケーションであれば、インストール、アップデート、アンインストールが可能です。さらに、操作のスケジュール設定や、各操作の前に、メッセージの送信も可能。

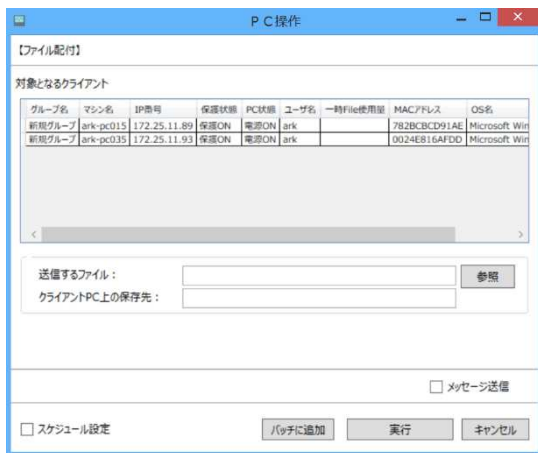
- ・アプリケーションのインストール
- ・アプリケーションのアップデート
- ・バッチファイルの送付と実行

一括操作で、管理を効率化

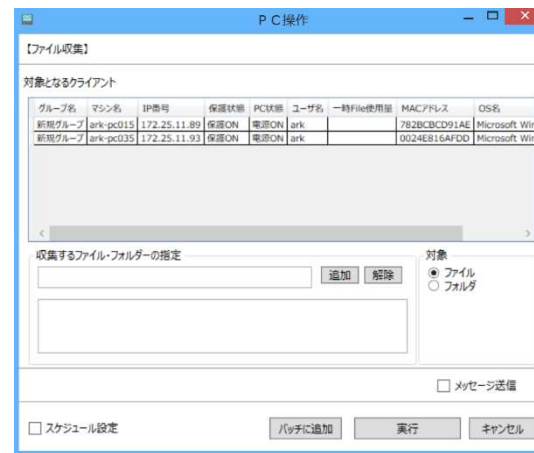
ソフトウェアの  
アップデート

授業に使うツールの  
インストール

● 資料配布 → 収集

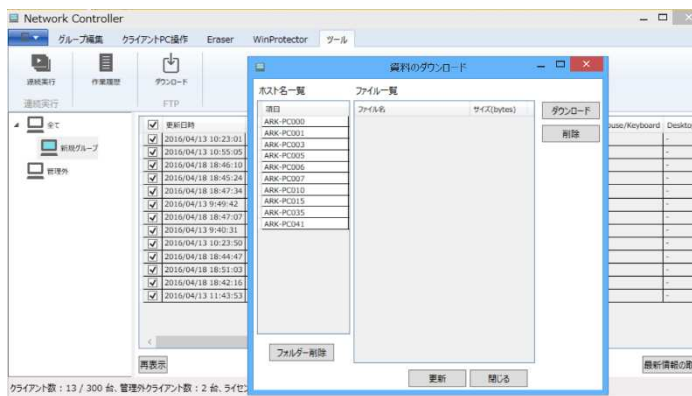


ファイル配布の設定画面



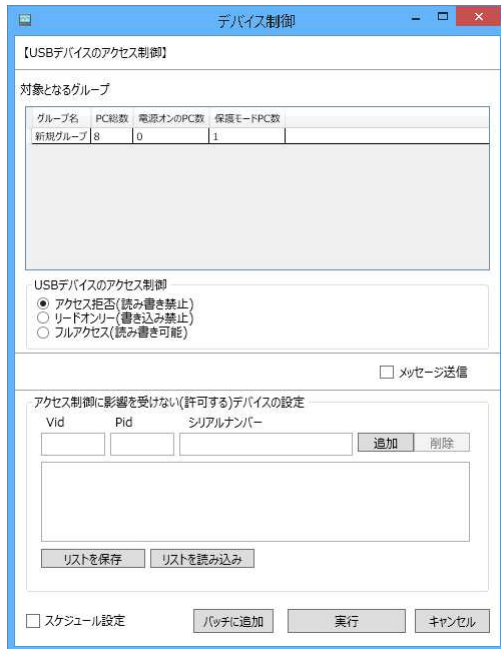
ファイル収集の設定画面

会議や授業・テストの資料の配布/回収に



クライアントPCに対し、ファイルの送信、ファイルの収集が可能です。収集されたファイルは、クライアントPC単位でFTPサーバーに保存され、資料のダウンロードが可能です。

## ●情報の持ち出しも持ち込みもシャットアウト



USBデバイスの制御設定画面

クライアントPCに内蔵のCD/DVDドライブ、USB接続された外付けハードディスクやメモリ、CD/DVDドライブなどを制御できます。  
 これによって、情報の持ち出し、および情報の持ち込みも制限できます。  
 さらに、操作のスケジュール設定や、各操作の前に、メッセージの送信も可能。

- ・外付けハードディスク/メモリへの持ち出し
- ・外付けハードディスク/メモリからの持ちこみ
- ・特定のデバイスのみ例外処理も可能に
- ・CD/DVDドライブへの書き出し
- ・CD/DVDドライブからの読み込み

**Ver.6** スマートフォン (MTPデバイス) のブロック

※iPhoneには対応していません。

### 情報の出入り口をしっかりと規制できます。

試験実施時の  
外部との情報遮断

機密情報の  
持ち出し禁止

ウィルスを  
持ちこませない

## ● 設定から運用まで、クライアント環境の維持を支援



現在の設定状況を確認

Ver.6

項目	K2Win81x64	ark-pc030
更新日	2016/10/27 16:46:15	2016/10/21 15:00:58
「起動時の設定」	-----	-----
コンピュータ起動時/終了時の設定	StartOSBoot	NoProtect
解除セレクターを表示する	True	False
解除セレクターのカウントダウン(秒)	10	10
OSのシャットダウン/再起動時に終了ダイアログを表示する	True	True
保護解除用/パスワード	-----	-----
シャットダウン/再起動時に一時ファイルの内容を継承する	False	False
「保護するドライブと除外フォルダ」	-----	-----
保護するドライブ	C	C
除外フォルダ	-----	-----
除外レジストリキー	-----	-----
マスターブートレコード(MBR)を保護する	True	True
ページファイルを保護する	False	False
保護ドライブへの全ての書き込みを一時ファイルへ書き込む	False	False
システム予約済み領域を保護する	False	False
「一時ファイル」	-----	-----
一時ファイルの場所(保存先)	Harddisk	Harddisk
インデックスの場所(保存先)	SystemMemory	SystemMemory
一時ファイルのドライブの設定	C	C
一時ファイルのサイズの設定(MB)	10000	10000
一時ファイルのメモリサイズ設定(MB)	1143	1131

WinProtector詳細表示画面

クライアントPCにインストールされた環境復元ソフトWinProtectorに関する設定、環境復元やアップデート連携を操作します。  
最適化設定では、WinProtectorの環境復元機能をスムーズに運用できるように、クライアントPCのWindowsなどの設定を最適化します。

- ・導入時/運用前の環境構築に  
Windowsの環境設定を最適化  
WinProtectorの詳細設定  
**Ver.6の最新機能一除外設定も可能**
- ・保護の開始/解除
- ・アップデート連携実施

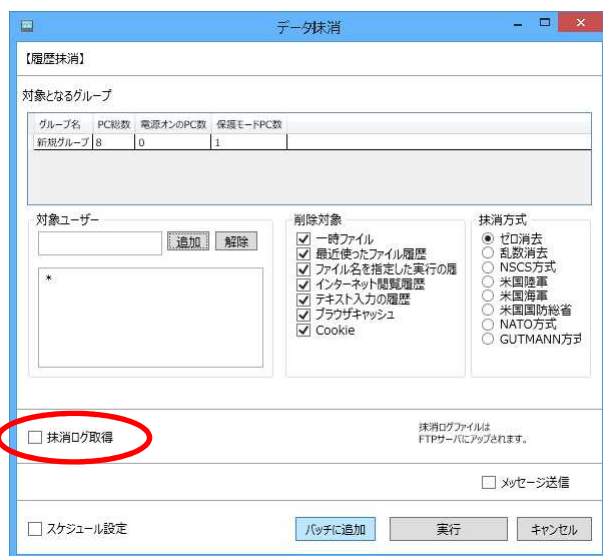
**環境復元ソフトの設定・導入だけでなく  
運用もスムーズに！**

保護状態の集中制御や  
アップデートの実施

運用開始前の  
作業を省力化

未然のトラブル防止

## ●データを消去 紛失・盗難時などの情報漏えいリスクも軽減



履歴抹消の設定画面

### データ抹消 各機能

- 履歴抹消
  - Windowsの履歴
    - … 一時ファイル、最近使ったファイル、ファイル名を指定して実行
  - ブラウザの履歴
    - … インターネット閲覧、テキスト入力、キャッシュ、Cookie
- ファイル抹消
  - 指定したファイル/フォルダ
- アカウント抹消
  - ユーザアカウントとユーザー領域
- 空き領域抹消
  - 各ドライブの空き領域

### FTP機能 (抹消ログの取得)

抹消完了後に、ログ (TXT,PDF)がFTPサーバーにアップ。  
「抹消ログ取得」でログをダウンロード可能！

## セキュリティを強固に！ WinProtectorの一時ファイル抹消にも

## 革命シリーズならではのオリジナル機能

不要なファイルや  
フォルダの一括抹消

ファイル抹消

PC紛失・盗難時の  
漏えい防止

空き領域抹消

長期研修・講座の  
終了後に

アカウント抹消



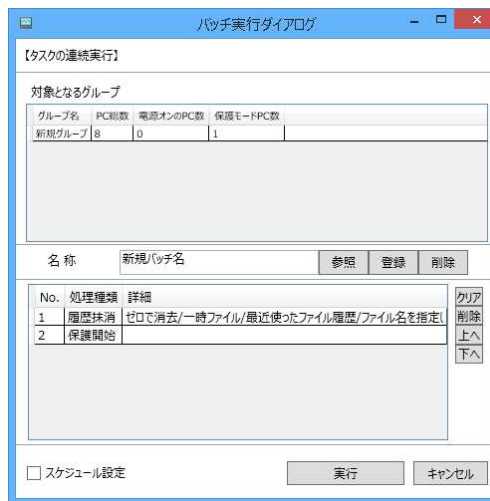
## ●各PC操作をバッチ登録 タスクの連続実行 編集で再利用も可能



クライアントPCへの各操作は、バッチ処理も可能です。各操作設定画面の「バッチに追加」ボタンを押下げすると、バッチ一覧に追加されます。

【ツールタブ】 — 連続実行

で表示されるバッチ実行ダイアログで編集、実行、スケジュール設定ができます。



バッチ実行ダイアログ

左の画面では、履歴抹消 → 保護開始の操作を連続して実行。

**バッチオーダー登録**  
バッチ操作を登録、編集して再利用も可能に。

## 時間を有効活用して、快適な運用を実現

夜間バッチで一斉に操作

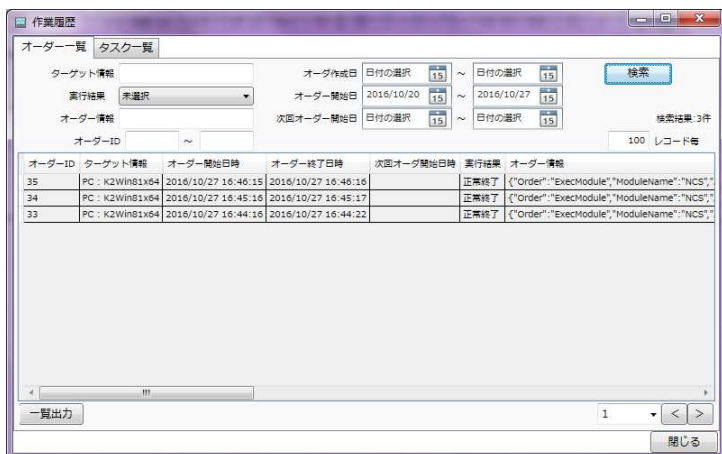
講義開始時の定常操作をスケジュール

起動時やシャットダウン時の多種の操作を集約実行

繰り返しの操作は登録したバッチを再利用

タスクの実行結果は、作業履歴から確認できます。

## ● オーダー／タスクの実行結果を管理



オーダー一覧・検索画面

オーダー／タスクを一覧で管理。

**検索機能を強化し、**

目的のオーダー／タスクをスピーディに把握できます。

**Ver.6**

課題を発見して  
迅速なトラブル解決

安定した  
パソコン運用

管理ツールの  
セキュリティ強化

**快適なPC環境で、セキュリティリスクを軽減！**

## ● その他の新機能

**Ver.6**

・Network Controller起動時のログイン



パスワードで起動制御できます。

・WinProtectorの詳細設定

**Ver.6の最新機能一除外設定も可能**

- パソコンルームの常設パソコンで
- 会議室や教室の貸出タブレットで



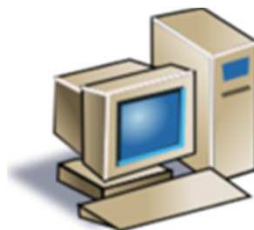
管理者の手間を削減  
講師の作業を強力にサポート

- 企業の持ち出しパソコンで



疑似シンクライアントの実現  
ハードディスクにデータを残させない運用

- 自治体の業務パソコンで



基幹システムの情報漏えい防止  
マイナンバー制度対策にも

	機能	Network Controller	Standard	
クライアントPC 【環境復元機能】	Windows 10 対応	○	○	
	BitLocker対応 ※1			
	保護対象ドライブの選択			
	パスワード設定			
	一時ファイルの保存先 (ハードディスク/メモリー)			
	作業した内容の適用			
	Windows Update 連携			
	アンチウィルスソフト更新連携			
	ログオンユーザー別の保護と権限設定			
	保護除外項目の設定 ※2			Ver.6 機能強化
	再起動後の保護の継続 ※3			
	サイレントインストール			
	詳細設定項目のインポート/エクスポート機能			
	アップデート連携の即時実行			
WinProtectorプログラム更新				
集中管理機能	Network Manager	△※4	○	
	Network Controller	Ver.6 機能強化 ○	×	

- ※1 BitLocker環境での保護時は、「除外フォルダーの設定」と「リアルモードから保護を開始する」、「継続保護」の設定は使用できません。
- ※2 保護除外設定は、「再起動後の保護の継続」「アップデート連携」の機能とは同時に使用できません。
- ※3 再起動後の保護の継続は、GPTディスク環境では対応していません。
- ※4 Network Manager の機能は全て、Network Controller にも搭載されています。

	HD革命/WinProtector Ver.6		A社製品	B社製品
	Network Manager (Standardに付属)	Network Controller		
環境復元	○	○	○	○
Windows Update 連携	○	○	○	○
アンチウイルスソフト更新連携	○	○	○※1	○
リモート操作（電源OFF、再起動、復元操作）	○	○	○	○
リモート操作（電源ON※2、ログオフ）	×	○	○	○
資料配布・収集	×	○	○	×
マウス・キーボード・ディスプレイ制御	×	○	○	○
CD/DVDドライブ制御	×	○	×	×
USBデバイス・MTP制御	×	○	×	○
ファイル抹消	×	○	×	×
コマンド実行、バッチ操作	×	○	○	×
アプリケーションのインストール/アップデート	×	○	×	×
スケジュール実行	×	○	○	○
アプリケーション一覧	×	○	×	×
ログオン/ログオフ履歴	×	○	○	×

※1 A社製品はフォルダ保護モード時に連携可能で、ドライブ保護モードでは不可。

※2 WOL対応機種のみ。

## ■ HD革命/WinProtector Ver.6 (両製品共通)

### ▼ オペレーティングシステム (OS)

日本語版の以下に示すOS

- ・ Windows 10 32bit/64bit版
- ・ Windows 8.1 32bit/64bit版
- ・ Windows 8 32bit/64bit版
- ・ Windows 7 32bit/64bit版 (SP1以降)  
※Windows RT/RT8.1には対応していません。  
※サーバー系のOSには対応していません。  
※アドミニストレータ権限 (管理者権限) が必要です。

### ▼ コンピューター

上記のOSが稼働するコンピューター (PC/AT互換機のみ)

※Macintosh (Mac)には対応していません。

### ▼ メモリー

- ・ Windows 10/8.1/8/7 64bit版 : 2GB以上
  - ・ Windows 10/8.1/8/7 32bit版 : 1GB以上
- ※メモリー上に「一時ファイル」を設定する場合、保護を行うためのメモリーとは別に、インデックス用としてドライブサイズに対して約1,000分の1のメモリー容量が必要です。

### ▼ CD/DVDドライブ

DVD-ROMを読み込めるドライブ (with Network Controller)

CD-ROMを読み込めるドライブ (上記以外)

### ▼ SSD、ハードディスク

50MB以上の空き容量 (本製品のインストール用として)

### ▼ 対応ファイルシステム

- ・ FAT32、NTFS (FAT16、exFATには対応していません)
- ※ダイナミックディスクの環境では使用できません。
- ※仮想ディスク (.VHD) をマウントしたドライブには対応していません。
- ※Windows 10/8.1/8の「記憶域」で作成したディスクに対して保護を行うことは動作保証外となります。

### ▼ その他

.Net Framework 4.5以上が必要 (with Network Controller)

### ▼ GPTディスクの環境では、「再起動後の保護の継続」の機能は使用できません。

## ■ ネットワークマネージャー (Standard)

### ▼ オペレーティングシステム (OS)

日本語版の以下に示すOS

- ・ Windows 10 32bit/64bit版
- ・ Windows 8.1 32bit/64bit版
- ・ Windows 8 32bit/64bit版
- ・ Windows 7 32bit/64bit版 (SP1以降)
- ・ Windows Server 2012 / 2012 R2 64bit版
- ・ Windows Server 2008 / 2008 R2 32bit/64bit版  
※Windows RT/RT8.1には対応していません。  
※アドミニストレータ権限 (管理者権限) が必要です。

### ▼ コンピューター

上記のOSが稼働するコンピューター (PC/AT互換機のみ)

※Macintosh (Mac)には対応していません。

### ▼ メモリー

- ・ Windows 10/8.1/8/7 64bit版 : 2GB以上
- ・ Windows 10/8.1/8/7 32bit版 : 1GB以上
- ・ Windows Server 2012 / 2012 R2 64bit版 : 2GB以上
- ・ Windows Server 2008 / 2008 R2 32bit/64bit版 : 2GB以上

### ▼ CD/DVDドライブ

CD-ROMを読み込めるドライブ

### ▼ SSD、ハードディスク

50MB以上の空き容量 (本製品のインストール用として)

## ■ ネットワークコントローラー (with Network Controller)

### ▼ オペレーティングシステム (OS)

日本語版の以下に示すOS

- ・ Windows 10 32bit/64bit版
- ・ Windows 8.1 32bit/64bit版
- ・ Windows 8 32bit/64bit版
- ・ Windows 7 32bit/64bit版 (SP1以降)
- ・ Windows Server 2012 / 2012 R2 64bit版
- ・ Windows Server 2008 R2 64bit版  
※Windows RT/RT8.1には対応していません。  
※アドミニストレータ権限 (管理者権限) が必要です。

### ▼ コンピューター

上記のOSが稼働するコンピューター (PC/AT互換機のみ)

※Macintosh (Mac)には対応していません。

### ▼ メモリー

- ・ Windows 10/8.1/8/7 64bit版 : 2GB以上
- ・ Windows 10/8.1/8/7 32bit版 : 1GB以上
- ・ Windows Server 2012 / 2012 R2 64bit版 : 4GB以上
- ・ Windows Server 2008 R2 64bit版 : 4GB以上

### ▼ CD/DVDドライブ

DVD-ROMを読み込めるドライブ

### ▼ SSD、ハードディスク

100MB以上の空き容量

(本製品のインストール用。その他にデータベースの保存領域が必要)

### ▼ その他

.Net Framework 4.5以上が必要 (with Network Controller)

## 【HD革命/WinProtector (クライアント用プログラム) について】

- SSD(Solid State Drive)上のドライブを保護するには、Trim機能をオフにする必要があります。
- システムドライブの断片化が進んでいる場合、保護を行うことはできません。
- お使いの環境によっては、HD革命/WinProtector を使用している間はWindowsの休止状態/サスペンド、スタンバイ/スリープ等の省電力機能が正しく動作しない場合があります。
- HD革命/WinProtectorでドライブの保護を行っている間は「ディスクデフラグ」またはそれと同様の機能を持つディスク最適化ソフトウェアによる最適化は行わないでください。
- マルチブートなどの環境で、OSの起動に関わるファイルが、保護されているドライブ以外にある場合は、そのファイルは保護されていないためにファイルの破損・変更があるとOSの起動ができなくなります。
- Intel 6 シリーズ以降のチップセット (Z68、Z77、Z87 など) を搭載したコンピュータで、RAID 機能 (Intel Smart Response Technology) が有効の場合は、「リアルモードから保護を開始する」オプションを選択しても、メモリー不足により保護を開始することができません。
- ドライブを保護中にコンピュータをリセットした場合や、一時ファイルが限界値に達して再起動した場合、保護中に変更されたデータは破棄されてしまいます。

## 【ネットワークマネージャーについて】

- HD革命/WinProtector とwith Network Managerの「ネットワークマネージャー」は同一PC上にはインストールできません。
- 「ネットワークマネージャー」機能を使用する場合は、ファイアウォールの例外処理を行っています。この例外処理は「HD革命/WinProtector」および「ネットワークマネージャー」のインストール時に行われます。そのため、後からセキュリティソフトウェアがインストールされた場合、例外処理が行われていないためにリモートでの保護の開始、解除ができません。「HD革命/WinProtector」または「ネットワークマネージャー」を一度アンインストールし、再度インストールしてください。

## 【ネットワークコントローラーについて】

- HD革命/WinProtector とwith Network Controllerの「ネットワークコントローラー」は同時にインストールできません。
- Windows の休止状態/サスペンド、スタンバイ/スリープなどになると正しく動作しない場合があります。管理対象のPC は、電源管理 (電源オプション) で「コンピュータをスリープ状態にする。」は「なし」としてください。
- ネットワーク脅威防止ソフトウェアがインストールされている場合には管理PC との通信がブロックされる場合があります。その場合はネットワーク脅威防止ソフトウェアのファイアウォールで、アプリケーションの許可設定をしてください。
- 異なるサブネット間で管理する場合は、サブネット間にあるルータで利用する通信ポートの送受信を許可してください。デフォルト値は、10001, 10002, 10003 番ですが別の番号での運用も可能です。その他、FTP サーバー (21 番)、SQLServer (1433 番) の送受信の許可が必要です。
- 異なるサブネット間でWOL を利用するには、ルータでBroadCast (IPv4 の場合) を許可する必要があります。

- IPv6 での通信機能は含んでいますが、実証実験はおこなっていません。IPv6 運用でも、IPv4 との相互運用している場合などは運用方式がいくつかあるので、導入についてはお客様環境で動作検証などを実施する必要があります。
- デバイスロック機能に関して
  - ・ マウス/ キーボードロック時に、クライアントPC でCTL+ALT+DEL キーを押すと、タスクマネージャが起動します。ただし、タスクマネージャのEXE を監視しており、起動したらそのプロセスを終了します。起動から終了まで多少のタイムラグがあります。
  - ・ マウス/ キーボードおよびデスクトップのロックは、ログアウト (シャットダウンも) されると解除されます。
  - ・ USB デバイス、CD/DVDおよびスマートフォンのアクセス制御は、ログアウト (シャットダウン) しても有効です。利用を再開するには、アクセスの許可が必要です。なお、設定/解除をおこなっても有効にならない環境がありますので、そのときはクライアントPC の再起動を行ってください。
- Network Controller を使用する環境において、データベースの定期的なバックアップを推奨します。
- 資料配布などにFTP サーバーを利用していますが、基本的にFTP サーバーにアップしたファイルは削除していません。よって、利用可能なハードディスク容量が少ない場合はファイルの整理をする必要があります。ただし、オーダやタスクを再実行する場合において、FTP サーバーに対象となるファイルがないとエラーとなりますので注意してください。
- スケジュール実行は、Windows タスクスケジューラで行っています。1 度しか実行しない場合もWindows タスクスケジューラに登録されています。これらは、「ツール」タブ→「作業履歴」と選択し、「オーダー一覧」に登録されたオーダを右クリック→「スケジュール削除」と選択することで削除が可能です。

## 【メモリー使用について】

- コンピューターによってはOS管理外のメモリーを使用するにあたり、BIOSの設定 (メモリーマップ機能) を有効にする必要があります。
- コンピューターによっては3GB以上のメモリーを搭載していてもOS管理外のメモリーを使用できない場合があります。
- 他のOS管理外のメモリーを使用するソフトウェアと同時にOS管理外のメモリーを使用することはできません。
- 休止状態/サスペンドなどの省電力機能を使用される場合は、OS管理外のメモリーを使用できません。
- 一時ファイルとして設定できるメモリー容量は、搭載メモリー容量や環境により異なります。

## 【他社ソフトならびに革命シリーズとの共存について】

- Symantec社の「Norton GoBack」(「SystemWorks」に含まれる「NortonGoBack」を含む)との共存はできません。
- SSD革命/SpeedAdvance Ver.1(Hi-Gradeも含む)とは同時にインストールできません。
- HD革命/BackUp、HD革命/CopyDrive、および「BOOT革命/USB」の各製品とは共存できません。
- HD革命/WinProtectorでシステムを保護している間は、「ディスクの管理」や「HD革命/Partition EX」、そのほかのツールでドライブの作成や削除などの操作を行わないでください。
- Memory革命/RAM Driveをインストールしている場合、OS管理外のメモリーを同時に使用はできません。

2016.10.16	Rev.1.0	Standard揭載
2016.11.07	Rev.2.0	Network Controller揭載



---

## 【問い合わせ先】

### 報道関係の皆様

株式会社アーク情報システム 企画販売部 担当：松木  
電話：03-3234-9251 FAX：FAX:03-3234-9252  
E-Mail：license@ark-info-sys.co.jp  
広告代理店：株式会社ピーアンドピービューロー  
PR事業部 松永 俊一 (E-mail：pp-matsu@x.age.ne.jp)  
電話：03-3261-8981 FAX：03-3261-8983

### 一般のお客様

株式会社アーク情報システム ユーザーサポート係  
電話：03-3234-9251 FAX：03-3234-9252  
サポートお問い合わせフォーム  
[https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK\\_N/MailSupport/MainGate.asp](https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp)

### 革命シリーズ販売促進拠点所在地

企画販売部（市ヶ谷本社）  
〒102-0076 東京都千代田区五番町4-2 東プレビル  
電話：03-3234-9251 FAX：03-3234-9252

### 革命シリーズ関連ホームページ

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/>

---

## 【会社概要】

名称：株式会社アーク情報システム  
本社住所：〒102-0076 東京都千代田区五番町4-2 東プレビル  
設立：1987年10月14日  
資本金：3億600万円  
従業員数：128名（2016年10月1日現在）  
代表取締役社長：佐藤 順一  
株式会社アーク情報システムホームページ：<http://www.ark-info-sys.co.jp/>

※本資料掲載内容は、2016年11月04日現在の情報に基づきます。  
予告なく変更となる場合がありますので、ご了承ください。

以 上